

いよいよ今年、  
ス、スライと  
誰よりも自分で始めちゃう

すずき産地  
世界的な  
大ニュース

# 全部の田を無農薬で

何年前だったか(前号?)、夢が形になったと大仰にチラシを紹介しましたつけ。少量とはいえ完全無農薬の米を販売できるようになった、と。

化学肥料を使わず、殺菌剤を使わず、殺虫剤を使わず、でも最後まで使わざるをえない農薬が除草剤でした。が、それも徐々に減らしてきて、昨年は稲を作付けした三ハの田んぼのうち二ハが完全無農薬でした。

成苗ポット植えへの切り替えとか、深水管理の徹底とか、アイガモの利用法の確立とか、だれも教えてくれないなか、技術面での試行錯誤を重ね



↑ 雑草に完全に負けてしまった田んぼ。収穫はほぼ皆無。

↓ 翌年の同じ田んぼ。成苗ポット式の田植え機を導入し、アイガモ利用も成功した。



は生き残れませんよね。そして、百姓18年目にして今年、いよいよ田んぼ全部を完全無農薬でいくつもりです。まだまだ収量は周囲の平均に及ばないけど、「量より質」が単なるお題目であつては日本農業は生き残れませんよね。

米袋のラベル

あずき産地の  
無農薬栽培  
こしひかり

大塚池の水が津の湯より  
甘んばるアイガモたち

春の田んぼは一面のレンゲソウ

農薬も化学肥料も使っていません。レンゲソウを有機肥料として、アイガモを除草剤の代わりに、タジャラだけと「恋愛米」です。自然環境と食べる人の健康を考え、ゆつたりと苗を植えて、太陽と風に育ててもらいました。

北茨城市磯原町木皿1399 TEL0293-42-2462 すずき  
インターネット <http://www.suzuki31.com/>



## 無農薬の田んぼで 化学肥料も使っていません

お米を直売します



アイガモがんばる



十客百来!?

直売店

インターネット上に直売店を開設しています。アドレスは、<http://www.ne.jp/asahi/suzuki/31/> 後の頁で紹介するホームページ「すずき産地」から入っていただけます。仮オープンのみまだけど、この通信が届くころにはリニューアル…できるかなあ。

田んぼに立てた看板

お問い合わせ先は、TEL 42-2462 磯原町木皿139G(天徳) 鈴木まで  
すずき産地  
インターネットのアドレスは <http://suzuki31.page.ne.jp/>